

神話の國出雲バイオマス活用推進プラン概要(平成25年度～平成34年度)

目的

※プラン5ページ

- ①農林業の振興及びエネルギー関連産業の立地促進による地域経済の活性化
- ②バイオマス資源の活用促進による持続可能な産業構造の構築
- ③環境にやさしいまちづくりの実現に向けた地球温暖化防止

現状

※プラン7ページ

- ・平成22年3月、「出雲市バイオマスタウン構想」を策定
- ・事業の実現可能性や採算性評価の検証が不十分
→ バイオマス資源の利用が順調に進んでいない。

具体的な取組

※プラン17ページ

- 地域特性や実現可能性等を踏まえ、具体的取組を明確化。
- 工程管理や検証等により、各プロジェクトを着実に推進。

⑨林地残材

- 市民参加型の搬出に向けた取組を検討。
- 公共温浴施設等への木質バイオマスボイラー導入を検討。

④廃食用油

- ごみ減量化等の観点から回収は継続するが、利用方法は見直しを含め検討。
- 平成26年度に斐川プラントの見直し検討。

①家畜排せつ物

⑧下水・し尿汚泥

⑤製材残材

⑩稲わら

⑥剪定枝

⑪もみ殻

⑦刈草

- 利用率が高いため、現在の取組を継続。
- ※剪定枝は新たな利用方法を検討予定。

②食品廃棄物(一般系)

③食品廃棄物(事業系)

- 次期可燃ごみ処理施設の整備検討の中で、利用方針等について検討。

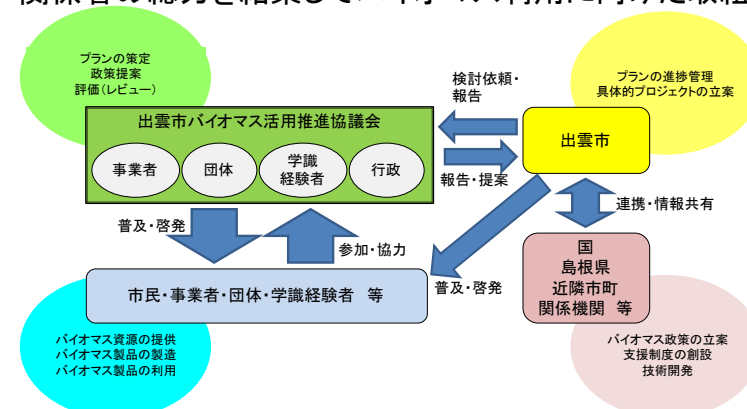
【スケジュール】

取組	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
市民参加型の林地残材等搬出に向けた取組	実証試験	実施(一部市域)	拡大実施			中間評価				事後評価
木質バイオマスボイラー導入(公共温浴施設)	評価検討	導入	評価検討	導入	評価検討	導入	評価検討	導入	評価検討	導入

実施体制

※プラン18ページ

- 出雲市の将来像を視野に入れた議論を展開。
- 関係者の総力を結集してバイオマス利用に向けた取組を推進。



利用目標量

※プラン18ページ

- 具体的取組を推進し、利用目標量の向上を図る。
- 状況に応じて取組内容や利用目標量を見直し。(単位: トン/年、%)

	現状 ＜平成22年度実績＞						目標 ＜平成34年度実績＞			
	賦存量		利用量		利用率		利用量		利用率	
	湿潤量	炭素換算	湿潤量	炭素換算			湿潤量	炭素換算		
廃棄物系	110,128	8,275	109,756	8,205	99		109,756	8,205	99	
家畜排せつ物	75,488	4,504	75,488	4,504	100		75,488	4,504	100	
食品廃棄物(一般系)	17,449	771	17,449	771	100		17,449	771	100	
食品廃棄物(事業系)	1,829	81	1,809	80	99		1,809	80	99	
廃食用油	584	417	584	417	100		584	417	100	
製材残材	7,550	1,682	7,268	1,619	96		7,268	1,619	96	
剪定枝	1,031	230	1,031	230	100		1,031	230	100	
刈草	341	28	271	22	79		271	22	79	
下水・し尿汚泥	5,856	562	5,856	562	100		5,856	562	100	
未利用系	41,654	11,276	31,428	8,997	80		34,428	9,665	86	
林地残材	10,220	2,276	0	0	0		3,000	668	29	
稲わら	27,000	7,730	26,994	7,728	100		26,994	7,728	100	
もみがら	4,434	1,269	4,434	1,269	100		4,434	1,269	100	
合計	151,782	19,551	141,184	17,202	88		144,184	17,870	91	